

平成30年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技

試合日	2018年8月3日(金)
開始時刻	11:40
会場	ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館)

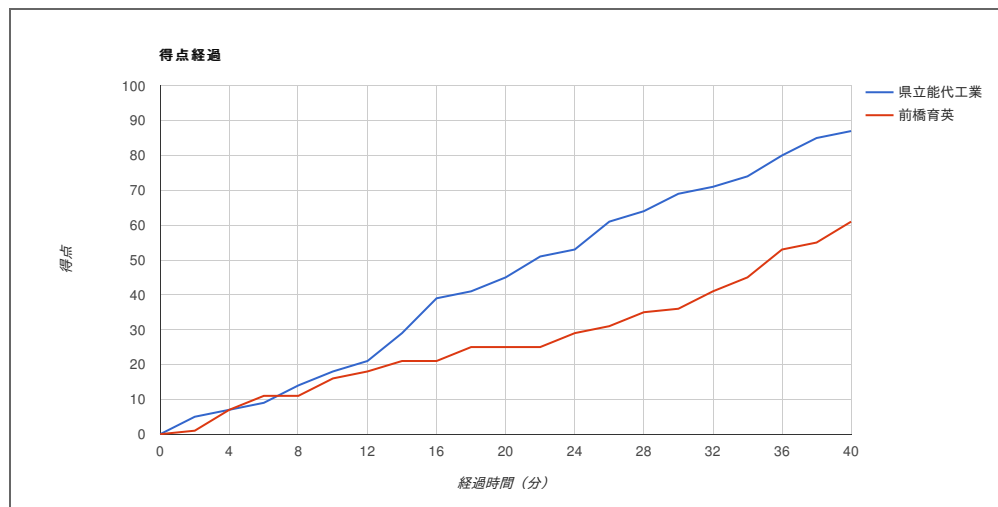
県立能代工業	87	18-16 27-9 24-11 18-25	61	前橋育英
--------	----	---------------------------------	----	------

県立能代工業

No.	選手名	GS	PTS	3P		2P		DK	FT		RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	MN
				MA	%	MA	%		MA	%	OR	DR	TOT								
4	遠田 貴大	●	2	0-0	0	1-1	100	0	0-0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0		13:12
5	新田 由直	●	23	0-0	0	11-19	57	0	1-2	50	8	9	17	2	0	3	2	1	0		24:59
6	牧野 湧		9	0-0	0	4-9	44	0	1-3	33	3	3	6	1	0	0	2	1	0		15:45
7	齋藤 創		10	0-0	0	5-8	62	0	0-1	0	1	3	4	3	2	0	1	3	0		17:26
8	高橋 日向	●	2	0-1	0	0-1	0	0	2-4	50	0	3	3	4	0	0	0	1	0		19:42
9	佐藤 侃	●	4	0-5	0	2-4	50	0	0-0	0	0	3	3	3	0	0	0	1	0		19:11
10	秋元 淳之介	●	7	0-0	0	3-8	37	0	1-2	50	1	3	4	2	0	0	0	0	0		13:30
11	須藤 陸		7	1-4	25	2-2	100	0	0-0	0	0	1	1	1	2	0	0	1	0		23:07
12	伊東 翼		8	0-1	0	3-4	75	0	2-3	66	1	2	3	2	0	0	2	3	0		17:35
13	中山 玄己		2	0-1	0	1-2	50	0	0-0	0	1	1	2	1	2	0	0	1	0		12:29
14	佐々木 駿汰		11	3-6	50	1-1	100	0	0-0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	0		14:24
15	森山 陽向		2	0-0	0	1-5	20	0	0-0	0	1	0	1	0	0	2	2	1	0		8:09
	Team/Coaches		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	5	3	8	0	0	0	1	0	0		DNP
	TOTALS		87	4-18	22	34-64	53	0	7-15	46	21	31	52	20	9	6	14	17	0	0	199:29

前橋育英

No.	選手名	GS	PTS	3P		2P		DK	FT		RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	MN
				MA	%	MA	%		MA	%	OR	DR	TOT								
4	近藤 虎ノ介	●	3	1-6	16	0-7	0	0	0-0	0	0	6	6	6	0	0	6	0	0		34:45
5	萩原 健斗	●	11	0-0	0	5-5	100	0	1-1	100	2	2	4	0	0	0	4	0			21:44
6	土田 昇平	●	8	0-1	0	3-7	42	0	2-4	50	0	1	1	1	0	0	3	2	0		26:56
7	入澤 翔	●	4	0-0	0	2-2	100	0	0-0	0	2	5	7	1	0	0	0	1	0		25:56
8	村上 翼		3	0-0	0	1-2	50	0	1-2	50	0	0	0	0	0	0	0	2	0		5:00
9	鈴木 海都		2	0-2	0	1-2	50	0	0-0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0		13:35
10	高橋 涼太郎		8	2-2	100	1-2	50	0	0-0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0		11:20
11	野本 康梧	●	11	0-5	0	3-11	27	0	5-6	83	1	3	4	3	0	0	4	2	0		28:24
12	船戸 海博		2	0-0	0	0-2	0	0	2-2	100	2	4	6	0	0	0	3	2	0		14:04
13	田中 勇颯		9	0-0	0	4-6	66	0	1-4	25	2	4	6	0	1	0	2	1	0		18:16
14	石川 昂		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		DNP
15	茂木 健太郎		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		DNP
	Team/Coaches		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	3	2	5	0	0	0	3	0	0		DNP
	TOTALS		61	3-16	18	20-46	43	0	12-19	63	12	28	40	12	1	0	23	15	0	0	200:00



戦評

第1P 両チームともにハーフコートマンツーマンからスタート。前橋育英は、3Pライン周辺でハイピック・フレアスクリーンなどを効果的に展開し、#6 #11のドライブ・ジャンプシュートで攻める。能代工業は、カッティングにスクリーンを織り交ぜディフェンスを崩し攻める。序盤は、お互いの厳しいディフェンスで得点を取ることが出来ない。しかし、残り4分30秒に前橋育英のチームファウルがたまると、能代工業のオフェンスが勢いを増す。着実に得点を重ね得点が離れ始めると前橋育英がタイムアウトを要求。タイムアウト後は、落ち着きを取り戻した前橋育英が得点を重ね16-18の2点ビハインドで第2Pにつなげた。

第2P 開始早々#6のドライブで同点に追いついた前橋育英であったが、能代工業は#11の3Pシュートでふたたびリードを奪うと厳しいディフェンスから速い攻めで連続して得点を重ねる。速攻から、鮮やかなアローブで得点すると25-18とし前橋育英はたまたタイムアウトをとる。しかし、能代工業の勢いは止まらない。オールコートでディフェンスを仕掛けると、これが見事にはまり着実に得点をつなげ、第2P終了時には、45-25と20点差のリードで前半を終えた。

第3P 能代工業の勢いは止まらない、粘り強さと持ち前のハードワークで連続で得点すると、前橋育英はタイムアウトで修正を図る。#5 #7の連続得点で反撃を試みるが、能代工業の#5の落ち着いたインサイドプレイに加え、衰えることのないディフェンスで、69-36とさらにリードを伸ばし第3Pを終了した。

第4P 前橋育英は#10の3Pシュート#13のインサイドプレイで得点を重ねるなど、最後まで勝負を諦めない献身的なプレイを見せる。リズムを取り戻し#10が3Pシュートを決め76-48とすると、残り5分30秒で能代工業がタイムアウトを要求する。ここから、お互いの良いプレイが見られ得点の入れ合いになる。87-61と能代工業が勝利したが、前橋育英の最後まで集中力を切らさない果敢な姿が、試合を引き締め見応えのある試合となった。

文責：堀 洋嘉

No: 背番号 PTS: 得点 AVG: 1試合平均得点 M: 成功数 A: 試投数 %: 成功率 2P: 2ポイントシュート 3P: 3ポイントシュート DK: ダンク FT: フリースロー RBD: リバウンド OR: オフェンスリバウンド DR: ディフェンスリバウンド TOT: 合計 AST: アシスト STL: スティール BLK: ブロックショット TO: ターンオーバー PF: パーソナルファウル, クリア・パス・ファウル, アウェイ・フロム・ザ・プレイ・ファウル, フレグランドファウル, バンチングファウルの合計 TF: テクニカル・ファウル FO: ファールオン DQ: 退場回数 MN: 試合出場時間

主審	田中 真	副審	近藤 賢
副審		副審	
スコアラー	名古屋西高等学校	サブスコア担当者	